

ヒナの成長を願う子どもたち コウノトリのヒナ2羽がメスと判明！

～愛称は市内小学生の投票による最終選考中～

今年生まれたコウノトリのヒナ2羽の雌雄判別を行った結果、2羽ともメスであることが判明した。

市では、6月7日（水）から6月22日（木）までの15日間、このヒナの愛称を募集し、2,394件の応募があった。

一次選考は、コウノトリと共生する地域づくり推進協議会委員に、1人5点選考してもらい、取りまとめの上、上位5点を選出した。

最終選考は、野田市内の小学生による投票にて、上位2点を愛称として採用する。

なお、2羽のヒナは、このまま順調に行けば、8月中旬から下旬に放鳥できる予定である。

そのため、8月上旬に集計を行い得票順で愛称を決定し、放鳥にあわせて愛称を発表する。

また、こうのとりの里に一番近い小学校である野田市立福田第二小学校（野田市西三ヶ尾988番地）では、「未来福にっこりプロジェクト」と銘打って、児童たちが自ら自然環境を守るにはどうしたらよいか考え取り組んでいる。

そうした中で、こうのとりの里に募金箱を設置し、寄附をいただいた方にドライフラワーをプレゼントする取組を行った。3か月間で26,689円集まり、コウノトリの餌代として、市のみどりのふるさと基金に寄附した。

●愛称募集の概要

- 1 募集期間 令和5年6月7日（水）から6月22日（木）まで
- 2 応募件数 2,394件
- 3 選考方法
 - 一次選考：公募した愛称一覧から、事務局が重複や対象外を整理し、コウノトリと共生する地域づくり推進協議会委員に、1人5点選考してもらい、取りまとめの上、上位5点を選出。同点の場合は会長一任。
 - 最終選考：一次選考した愛称候補の中から、野田市内の小学生による投票にて、上位2点を愛称として採用

4 一次選考結果（五十音順）

	愛称
1	ココ
2	サツキ
3	ツツジ
4	ノン
5	マメ

5 愛称発表

放鳥にあわせて発表

●ヒナのふ化から現在の様子

令和5年5月13日 兵庫県立コウノトリの郷公園から卵を移送

令和5年5月16日 親鳥へ托卵

令和5年5月18日 2羽のふ化を確認

令和5年6月25日 巣台から降りているのを確認。

現在、餌を食べるなど、元気な様子を見せている。

●未来福にっこりプロジェクト

野田市立福田第二小学校（野田市西三ヶ尾 988 番地）において、児童のアイデアで人々の未来が「福にっこり」の笑顔になるよう、自然環境を守り、資源の再利用を目指した取組。今回のドライフラワーの他、草花を残してミツバチの蜜源をふやしたり、校内に生き物がすめるビオトープを作ったり、給食の残菜やコーヒーかすを集め肥料にする取組などを行っている。

●放鳥した 11 羽の最近の滞在状況

令和5年7月19日現在

未来 : 茨城県神栖市・千葉県旭市付近（令和5年1月4日現在）

翔 : 茨城県神栖市・千葉県旭市付近（令和5年5月22日現在）

きずな : 静岡県浜松市付近（令和5年5月11日現在）

ひかる : 栃木県小山市付近（令和5年5月19日現在）

ヤマト : 千葉県野田市付近（令和5年7月18日現在）

カズ : 千葉県野田市付近（令和5年6月6日現在）

レイ : 栃木県小山市付近（令和5年5月19日現在）

たいよう : 茨城県神栖市付近（令和5年5月27日現在）

リン : 茨城県龍ヶ崎市付近（令和5年7月5日現在）

ミズキ : 茨城県行方市付近（令和5年6月14日現在）

はく : 茨城県龍ヶ崎市付近（令和5年7月5日現在）

※「未来」「ひかる」…GPSが不通
「翔」「きずな」「カズ」「レイ」「ミズキ」「リン」
…GPSの脱落を確認
「たいよう」「はく」…最初からGPS未装着

●「コウノトリと共生する地域づくり推進協議会」の概要

○設立年月日 平成24年8月1日

○協議会設立の目的

野田市におけるコウノトリの安定的な生息が可能となる「自然と共生する地域づくり」、コウノトリをシンボルとした「地域振興」と「環境教育・環境学習」の推進を通し、地域の生物多様性の保存・再生・創造等に資することを目的とする。

○役員など

会長は野田市長が務め、各役員は農業や商工関係者、教育関係など多様な組織の委員で構成する。

問合せ＝みどりと水のまちづくり課・(直通) 04-7199-8147

(代表) 04-7125-1111 (内線 2692)

野 田 市